

鎌田榮吉 いかり 栄吉 教育家。安政四年一月二十一日紀伊國生れ、昭和九年二月六日歿（八五七一九三三）。號竹堂、暉雨、茂人。明治八年度應義塾卒。造上館教頭、大分師範學校校長等を経、三十一年母校校長。この間衆議院議員となり、大正十一年文相就任。貴族院議員、樞密顧問官、また文相社理事等、帝國教育會會長と務めた。俳句、和歌も能く、歿後『鎌田榮吉全集』全三巻が出版せられた。

著書、『獨り上り尊』（明治四十四年九月、千日實業之日本社・慶應義塾傳報發行所）、『進取論』（大正四年四月七日廣文堂書店）、『二田社會學會講演集・第一輯』（合著、大正九年十一月十八日二田社會學會）、『南の心』（喜多村進編、昭和二年十一月徳川賴貞序、無刊記）、『我が福澤先生』（合著・福澤先生研究會編、昭和六年四月十五日丸善株式會社）、『故子齋藤澤榮一翁追悼講演録』（合著・鈴木誠治編、昭和七年四月二十八日協同會）、『暉雨時雨』（萩山仁二郎編、昭和九年四月二十九日交詢社俳句研究會）等。

